

第7章 用語集

あ行

汚水処理原価【おすいしよりげんか】

有収水量 1m³あたりの汚水処理に要した費用であり、汚水資本費と汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標。

か行

管渠改善率【かんきょかいぜんりつ】

当該年度に更新した管渠延長の割合を表した指標。

幹線管渠【かんせんかんきょ】

下水の取入れを図る枝線を集め、処理場への導流を図るための管渠。

企業債残高対事業規模比率【きぎょうさいざんだかたいじぎょうきぼひりつ】

料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標。

経営戦略【けいえいせんりやく】

公営企業が、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画。

経営比較分析表【けいえいひかくぶんせきひょう】

公営企業の経営及び施設の状況を表す主要な経営指標とその分析。

経常収支比率【けいじょうしゅうしひりつ】

経常的な経費（人件費、公債費など）のうち、経常的な収入（流域下水道維持管理負担金、下水道使用料など）の割合であり、財政構造の弾力性を示す指標。

経費回収率【けいひかいしゅうりつ】

汚水処理に係った費用のうち、使用料収入で賄えている割合。

下水道整備率【げすいどうせいびりつ】

下水道計画区域面積のうち、整備済み面積の割合。

下水道接続率【げすいどうせつぞくりつ】

下水道処理区域内の人口のうち、下水道に接続している人口の割合（＝水洗化率）。

下水道処理人口普及率【げすいどうしよりじんこうふきゅうりつ】

下水道の整備状況を示す指標として用いられ、対象とする区域内の総人口に対して下水道を利用できる人口の割合。

コンセッション【こんせつしょん】

管理者は運営権者に運営権を設定。運営権により、運営権者は利用者から収受する利用料金に基づき事業を運営する方式。

さ行

施設利用率【しせつりようりつ】

施設・設備が一日に対応可能な処理能力に対する、一日平均処理水量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標。

指定管理者制度【していかりしやせいど】

強制徴収等の公権力の行使を除く運転、維持管理、補修、清掃等の事実行為を含む公共施設の管理を民間事業者代行させる方式。

集落排水【しゅうらくはいすい】

農業（漁業、林業）集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水、汚泥又は雨水を処理する施設。

水洗化率【すいせんかりつ】

現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標。

ストックマネジメント計画【すとくまねじめんとけいかく】

持続可能な下水道事業の実現を目的に、既存の膨大な施設（ストック）の状況を客観的に把握、評価し、長期的な施設の状態を予測しながら、施設を計画的かつ効率的に管理（マネジメント）していくための計画。

た行

特定環境保全公共下水道【とくていかんきょうほぜんこうきょうげすいどう】

公共下水道のうち処理対象人口が概ね 1000 人未満で水質保全上特に必要な地区において施行されるもの。

は行

包括的民間委託【ほうかつてきみんかんいたく】

処理施設の包括的民間委託は「処理施設の維持管理に係る複数業務をパッケージ化し、性能発注により、複数年契約」にて実施しているものとし、管路施設の包括的民間委託については、「管路管理に係る複数業務をパッケージ化し、複数年契約」にて実施している方式。

ら行

流域下水道【りゅういきげすいどう】

2以上の市町村からの下水を処理するための下水道で、終末処理場と幹線管渠からなる。

流域別下水道整備総合計画【りゅういきべつげすいどうせいびそうごうけいかく】

環境基本法第16条に基づく水質環境基準の類型指定水域について、水域内の環境基準を維持達成するための下水道整備に関する総合的な基本計画。

流動比率【りゅうどうひりつ】

1年以内に支払う必要がある経費のうち、1年以内に現金化できる資産の割合であり、事業の短期的な支払能力を示す指標。

累積欠損比率【るいせきけつそんひりつ】

営業収益のうち、累積欠損金の割合であり、数値が高いと経営が悪化していることを示す指標。